

# 患者さんへ

感染症内科では下記の臨床研究を行っています。研究概要は以下の通りです。

## 研究課題名

カンジダ血症・カンジダ眼内炎の疫学とリスク因子に関する後ろ向き観察研究\*

## 目的

カンジダ菌血症は外科の手術後や大きな外傷の後に起こる感染症で、予後の悪い疾患の一つです。比較的稀な疾患であり、その発症の原因（リスク因子）を詳しく解析し、その結果をもとに治療を改善していく必要があります。今回私たちは、電子カルテから、患者さんの背景や検査値等を調べ、死亡された方や重篤な合併症である真菌性眼内炎を合併した方にどのようなリスク因子があるのかを調査します。

## 対象

2010年4月～2016年8月までに血液培養でカンジダが検出された方。

## 方法

抗菌薬の処方内容や処方理由、検査などについて、当院研究担当医師が電子カルテを用いて調査を行います。調査は多施設共同で、得られた情報は匿名化して解析を行い、学会発表や論文として公表します。この研究に参加されることで新たな検査や処置などが必要になることはありません。

## 研究期間

承認日～平成31年3月31日

研究機関の長：横浜市立市民病院 病院長 石原淳

研究責任者：感染症内科 吉村幸浩

相談窓口：横浜市立市民病院 感染症内科 電話 045-331-1961（病院代表）

この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書および研究方法に関する資料）を入手・閲覧することができますので、ご希望の際は研究責任者へお申し出ください。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、研究責任者へ申し出いただきますようお願いいたします。

※「後ろ向き観察研究\*」：過去に起こった事柄について調査する研究